PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
中部国際センター

三河のロープでインドネシアの河川浄化

いよいよ４月から現地実証試験開始

特殊な糸をループ状にした「バイオコード」を、汚染された河川に浸すだけで水質改善――。

愛知ブランド企業にも認定されているティビーアール株式会社（愛知県豊川市）の製品「バイオコード」は、元々は漁業用ロープメーカーであった同社が開発した河川浄化用製品です。この不思議な「バイオコード」の秘密は、微生物が繁殖しやすいように放射状に編み合わされた高分子系の糸にあります。見た目はふわふわのモップ糸のようですが、ひとたび河川に設置すれば、糸の表面に付着した微生物が水中の汚染物質を分解、除去して浄化します。この製品をインドネシアの河川浄化に役立てるための実証試験が、いよいよ開始されます。

舞台は下水道の普及率が 2%にとどまる、インドネシアのジャカルタ特別州。近年の都市化と人口増加に伴い、未処理のまま排出される生活排水が引き起こす河川の汚染、飲料水となる地下水の汚染は大きな問題となっています。この問題を解決するため、国際協力機構（JICA）は「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」に同社の「高効率水環境改善システム導入案件化調査」を採択し、実施契約を締結しました。

下水道などのインフラ設備が整うまでには、長い期間を要します。低コスト、短期間での設置が可能な「バイオコード」は、問題解決に向けた第一歩として、途上国での普及が期待されます。

「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されています。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 中部　市民参加協力課
TEL　052-533-1387　e-mail：jicacbic-psp@jica.go.jp